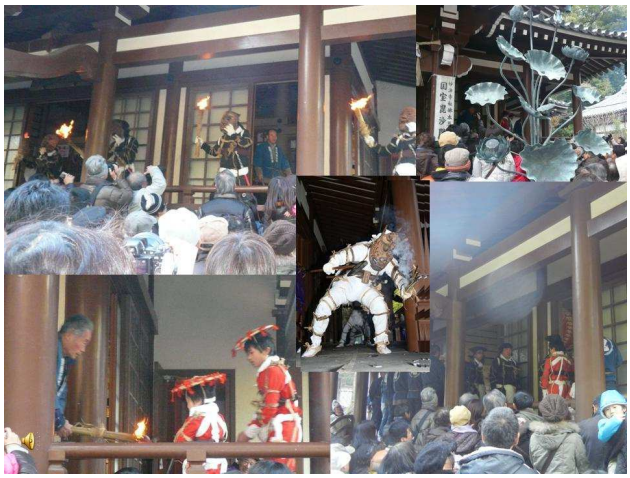
1.

西神戸　摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追雛式

白川街道　「妙法寺」に古くから伝えられてきた新年招福の追雛式　10 匹の鬼が舞い踊る　2013.1.3.



2013 年 1 月 3 日　神戸　摂播国境　白川街道「妙法寺」に古くから伝えられてきた　10 匹の鬼が舞い踊る新年招福の追雛式

毎年新年を迎え、節分が近づくと気になる「鬼」　ですが、昨年私の住む西神戸の摂播国境周辺から播州にかけての古い街道筋集落の神社や寺に神や仏の化身である鬼が舞い踊り、災いを祓い、福を招く追雛式・鬼踊りが残っていることを知りました。

昨年は　神戸永田の森　長田神社の追雛式　東播磨　稲美町野寺高薗寺の鬼追式に参加しましたが、今年はお膝元　白川街道沿い妙法寺集落　毘沙門天を祭る妙法寺　伝統の正月行事　　10 匹の鬼が招福の鬼踊りを舞う　妙法寺追雛式に行ってきました。

追雛式の終わりに福餅を割る儀式があるのですが、その福餅を参集の人達に撒く餅撒きで「ご縁が入った餅」を得て、いい気分で帰ってきました。

平安時代から延々と続く素朴な妙法寺追雛式　記録として写真に収めてきました。

2012.年 2 月　3 日　神戸長田の森長田神社の節分・追雛式

神の化身である 7 匹の鬼が　午後から約 5 時間

真っ暗になるまで松明を掲げて舞い踊る

2012 年 2 月 10 日夕　東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式

火の粉を撒き散らし空高く飛ぶ松明

仏の化身　赤鬼・青鬼が災いを祓って舞い踊る

2013年 正月3日 伝統の追儺式

神戸 妙法寺 追儺式

新年に天下太平、五穀豊穣、招福攘災を祈る正月行事の「追儺式」
毘沙門天の化身といわれる黒、赤、白の鬼の一族10匹が本堂の回廊に次々と登場し、
ホラガイや太鼓の音に合わせて勇ましい舞を披露し、今年1年の幸せを祈る。

農繁期を終えた黒、赤、白の鬼の一族10匹が伊勢参りに出掛ける道中を描いていると言われ、
平安時代から続けられてきた妙法寺の行事で、檀家らでつくる保存会がこの伝統を受け継いでいる。

最初に現れたのは黒鬼の一番太郎。たいまつを手に勢いよく飛び跳ねた。子鬼のかわいらしい舞に続いて登場した白鬼の太郎鬼は、たいまつの火をおのでたたき消し、ほかの白鬼2匹とともに力強く練り歩いた。 最後に幸福の象徴である餅を協力してたたき割る。そして この幸福の餅を子鬼の頭に載せ、よろめく子鬼の姿で幸福の重さを披露し、最後に餅撒きをして行事を終わる。
この餅撒きの餅には「ご縁」が入っていて この餅を得ると幸福・金持ちになると伝えられている。

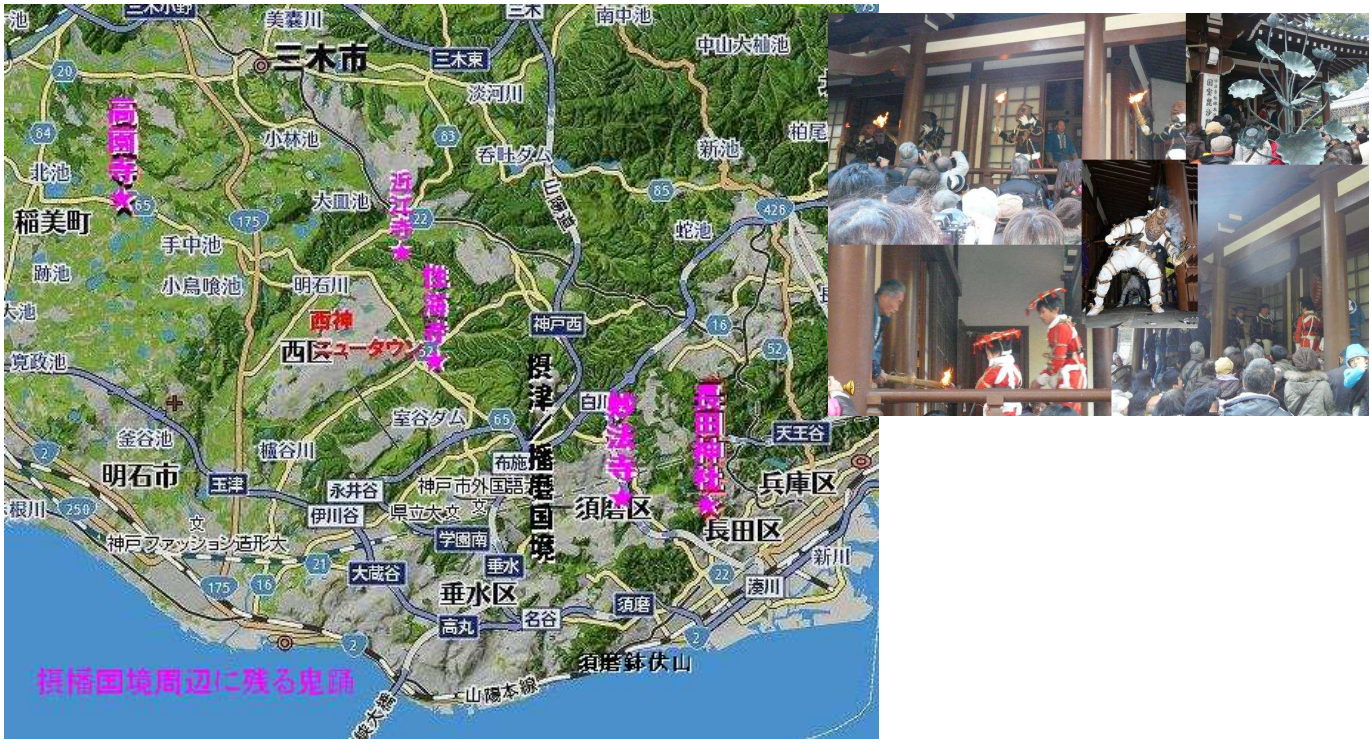
摂播国境 妙法寺川沿い古街道沿いに残る素朴な伝統行事。
私の住む妙法寺川沿いの白川街道(神戸三木線) 妙法寺にも「良い鬼」の伝承が残っていました

2013.1.3.　妙法寺追儺式 の スタート
鬼に扮する人達のお参りとお面受領

国宝毘沙門

国宝毘沙

国宝毘沙



【　参考資料　】

1. 西神戸　摂播国境に残る「神や仏の化身の鬼」の追儺式

神戸の鬼　鬼の舞を追う　2012年2月

神戸長田の森「長田神社の鬼」と 稲美町野寺「高蘭寺の鬼」

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron02.pdf

1. 神の化身 7匹の鬼が燃えさかる松明を掲げて舞踊る　神戸長田神社 節分・追儺式　2012.2.3.
2. 仏の化身　赤鬼・青鬼　災い払う火の粉舞う伝統の鬼の舞　稲美町野寺　高蘭寺　鬼追式　2012.2.10.

2. 日本各地　鬼伝説　和鉄の道・Iron Road　掲載リスト　2013.1.15.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01list.pdf

《参考》　日本各地　鬼伝説　　和鉄の道・Iron Road　掲載リスト　2013.1.15.

奈良元興寺の厄除鬼「鬼は内　福は内」

神戸長田の森長田神社の節分･追雛式

東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式

1.　日本各地に残る鬼伝承

和鉄の道　Iron Road 【2】　製鉄遺跡探訪 2001 & 2002 上

10.　日本各地の鬼伝説　鬼伝承の鬼は本当に悪者か???　2003.2.3.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb10.pdf

和鉄の道　Iron Road 【1】製鉄遺跡探訪　1995.10.-2000.5

8.　弘前ねぷたと岩木山北麓　鬼伝説の里　鬼沢　鬼神社・十腰内　巌鬼山神社を訪ねて　2000.8.4.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa08.pdf

和鉄の道　Iron Road 【4】　製鉄遺跡探訪　2004

6.　蝦夷の鉄・東北　和鉄の道　東北地方　和鉄の道　9編　取りまとめ　2004.1.18.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf

和鉄の道　Iron Road 【6】　たたら遺跡探訪 2006

3.　蝦夷の雄「アテルイ」の足跡　「清水寺・将軍塚」　2006.2.9.

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/6iron03.pdf

和鉄の道　Iron Road　From Kobe

◎　From Kobe 2008 年2月　日本人の祖先の一部　節分の「鬼」　2008.2.3.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm

◎　From Kobe　2010年2月　今年も節分の鬼によせて「福は内　鬼も内」　2010.1.30

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/mutsu/fkobe1002.pdf

2.　神戸　摂播国境に残る招福の鬼踊り　神や仏の化身の鬼の追雛式

和鉄の道・Iron Road 【12】　たたら遺跡探訪 2012

2.　神戸の鬼　鬼の舞を追う　2012年2月

神戸長田の森「長田神社の鬼」と 稲美町野寺「高薗寺の鬼」

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron02.pdf

1.　神の化身 7匹の鬼が燃えさかる松明を掲げて舞踊る　神戸長田神社 節分・追雛式　2012.2.3.

2.　仏の化身　赤鬼・青鬼　災い払う火の粉舞う伝統の鬼の舞　稲美町野寺　高薗寺　鬼追式　2012.2.10.

和鉄の道・Iron Road 【13】　たたら遺跡探訪 2013

1.　神戸　神戸摂播国境　白川街道沿い「妙法寺の新年招福の追雛式」　2013.1.3.

「妙法寺」に古くから伝えられてきた10匹の鬼踊　新年招福の追雛式

http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/13iron01.pdf

■ 日本各地 鬼伝説

1. 伯耆国 孝謙天皇 鬼退治伝説 鳥取県溝口町 日野川流域 楽楽福(ささふく)神社伝承

孝霊天皇 鬼伝説 伯耆 溝口 -楽楽福神社 古文書より-

伯耆の国日野郡溝口村の鬼住山に悪い鬼 が沢山住み着いていました。
この鬼達は近くの村々に出ては人をさらったり、金や宝物・食べ物を奪って人々を苦しめていました。
これを聞かれた孝霊天皇は、みずから軍勢を率 いて鬼住山の南のこれより少し高い笹苞山(ささとさん)に登り、鬼住山の鬼達をことごとく退治され ました。
天皇が山に登り、布陣された時、人々は笹巻の団子を献上し、士気が大いに上がったといいます。
それで、この山を笹苞山(ささとさん)と呼ぶようになりました。
鬼をおびき出す為、山麓の赤坂というところに団子を三つ並べたところ、弟の鬼『乙牛蟹』が出てきて討たれました。
兄の『大牛蟹』は大いに怒り、手下を束ね一層暴れ、容易に退治することが出来ません。
ある晩 眠っている天皇に「笹の葉を刈って山のように積上げなさい。そうすると風が吹いてそれらを舞い上げ、鬼を運い退治出来るでしょう」とのお告げがあった、これを聞いた天皇がその通りにすると三日目の朝、猛烈な南風が吹き、積上げた笹を「あれよあれよ」と鬼の住処の方へ、巻き上げて行きました。天皇はここぞとばかり、全軍を叱咤して、舞いあがった笹の後を追い、鬼退治に向かいました。
笹の葉に巻きつかれ、また枯葉が燃え、鬼達はなすすべも無く、麓に逃げて降参 しました。
人々は大変喜んで 麓宮原の地に笹で祇殿を吹き天皇を祭りました。
これが楽楽福(ささふく)神社のいわれです。

2. 北上の鬼 蝦夷の雄「アテルイ」と坂上田村麻呂の蝦夷征伐 岩手県一関・胆沢ほか

北上(日高見)の『鬼』・蝦夷の族長「アテルイ」

岩手県北上市の市民憲章には
「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち ここは北上」
と誇らしく歌う
この「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長日高見の鬼「アテルイ」とその一族 蝦夷 を指す

今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて坂上田村麻呂を征夷大将軍とした蝦夷征伐があった。
坂上田村麻呂がでるまで、朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」
この蝦夷征伐のもうひとつの側面は今まで輸入に頼っていた「金やくろがね」がこの蝦夷の支配地ででたことによる鉱物資源の支配
朝廷の蝦夷征伐の大軍を苦しめぬいた蝦夷の族長がアテルイ。
蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大将軍坂上田村麻呂
長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友・モレと約５００人の兵とともに田村麻呂に降伏。
坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」と助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首。

岩手県民総参加の運動で完成されたアニメ映画「アテルイ」

京都 東山 将軍塚より 京都市街地全景 2005.2.9.

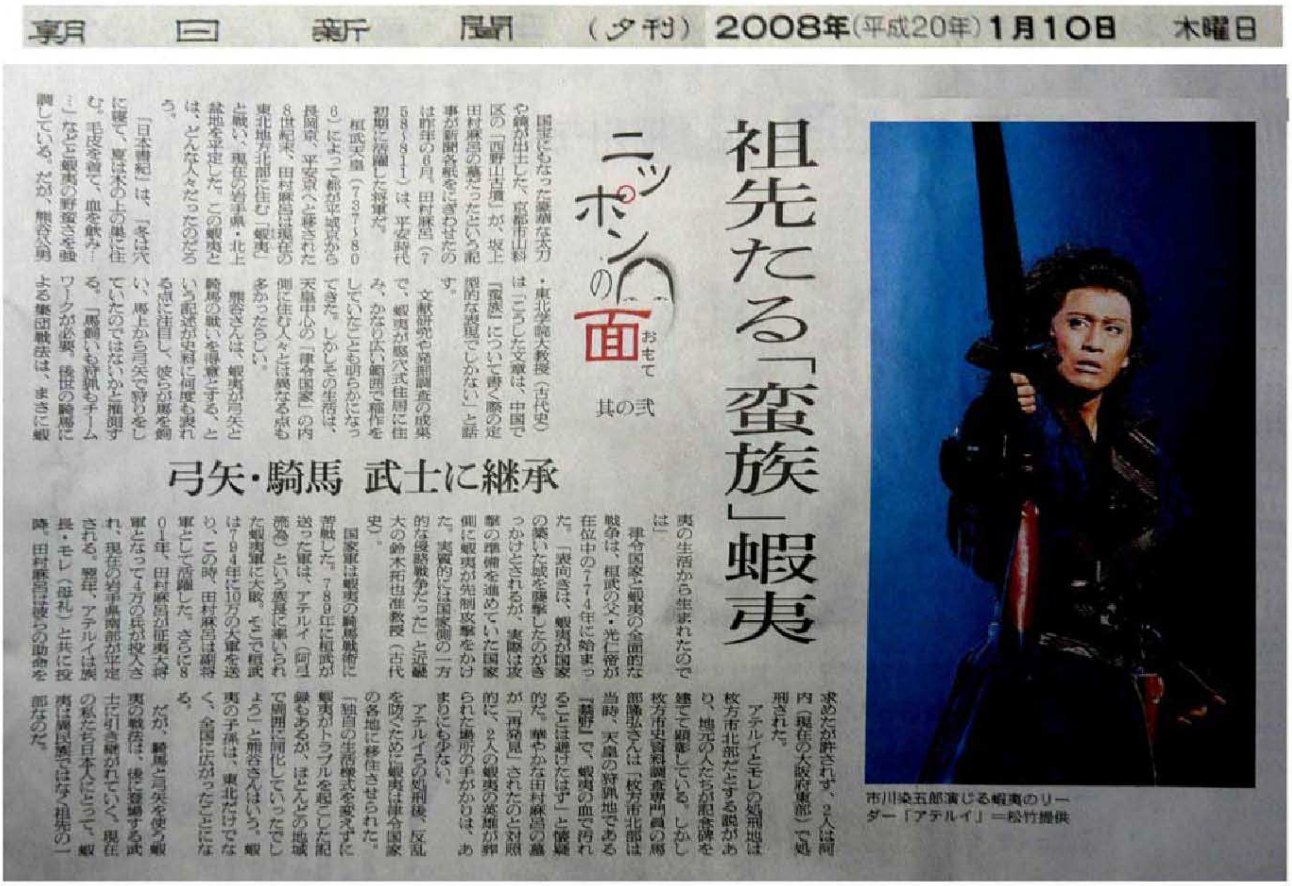
大日堂とその寺域の中にある将軍塚 2005.2.9.

「アテルイは親、兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。
２１世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」
と東北の人達はメッセージを送る。

【参 考】
巨大勢力となった寺から逃れる為、奈良平城京から平安京へ遷都されたこの時代。東寺・西寺しか許されかった平安京に蝦夷の制圧に成功した坂上田村麻呂は国家加護の道場として清水寺の建立を許されている。
東北にある蝦夷の勢力の強さがこのことからも推察される。
また、坂上田村麻呂の頭の中に蝦夷の族長「アテルイ」への思いがあったかも知れぬ。
その背後の東山 坂上田村麻呂が葬られた地には「将軍塚」の名前が今も残されている。
東北の地にも、大将軍 将軍通りなどの地名が今も残る。

清水寺 南の谷に面する清水の舞台下の丘にある アテルイ・モレの顕彰碑

坂上田村麻呂と蝦夷の族長「アテルイ」



朝日新聞（夕刊）2008年（平成20年）1月10日　木曜日

ニッポンの面　おもて　其の弐

祖先たる「蛮族」蝦夷

弓矢・騎馬　武士に継承

国宝にもなった金銅製の太力や鏡が出土した、京都市山科区の「西野山古墳」が、坂上田村麻呂の墓だったという記事が新聞各紙をにぎわせたのは昨年の6月。田村麻呂（758～811）は、平安時代初期に活躍した将軍だ。

桓武天皇（737～806）によって都が平城から長岡京、平安京へと移された8世紀末、田村麻呂は現在の東北地方北部に住む「蝦夷」と戦い、現在の岩手県・北上盆地を平定した。この蝦夷とは、どんな人々だったのだろう。

「日本書紀」は、「冬は穴に寝て、夏は木の上の巣に住む。毛皮を着て、血を飲み、…」などと蝦夷の野蛮さを強調している。だが、熊谷公男・東北学院大教授（古代史）は「こうした文章は、中国で『蛮族』について書く際の定型的な表現でしかない」と話す。

文献研究や発掘調査の成果で、蝦夷が竪穴式住居に住み、かなり広い範囲で農作をしていたことも明らかになってきた。しかしその生活は、天皇中心の「律令国家」の内側に住む人々とは異なる点も多かったらしい。

熊谷さんは、蝦夷が弓矢と騎馬の戦いを得意とする、という記述が史料に何度も表れる点に注目し、彼らが馬を飼い、馬上から弓矢で狩りをしていたのではないかと推測する。「馬飼いも狩猟もチームワークが必要」。後世の騎馬に興じている。だが、熊谷公男さんは「蝦夷の生活から生まれたのでは」

律令国家と蝦夷の全面的な戦争は、桓武の父・光仁帝が在位中の774年に始まった。「表向きは、蝦夷が国家の築いた城を襲撃したのがきっかけとされるが、実際は攻撃の準備を進めていた国家側に蝦夷が先制攻撃をかけた。実質的には国家側の一方的な侵略戦争だった」と近畿大の鈴木拓也准教授（古代史）。

国家軍は蝦夷の騎馬戦術に苦戦した。789年に桓武が送った軍は、アテルイ（阿弖流為）という蝦夷に率いられた蝦夷軍に大敗。そこで桓武は794年に10万の大軍を送り、この時、田村麻呂は副将軍として活躍した。さらに801年、田村麻呂が征夷大将軍となって4万の兵が投入され、現在の岩手県南部が平定される。翌年、アテルイは族長・モレ（母礼）と共に投降。田村麻呂らの助命を求めたが許されず、2人は河内（現在の大阪府東部）で処刑された。

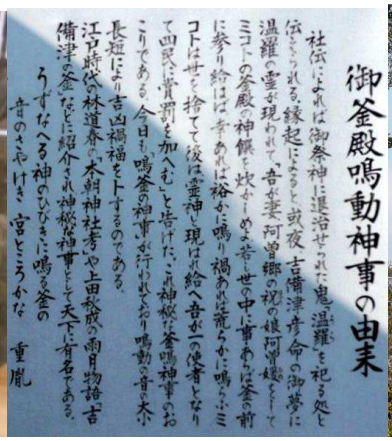
アテルイとモレの処刑地は枚方市北部だとする説があり、地元の人たちが記念碑を建てて顕彰している。しかし枚方市史資料調査専門員の郷部弘さんは「枚方市北部は当時、天皇の狩猟地である『禁野』で、蝦夷の血で汚れることは避けたはず」と疑問視する。華やかな田村麻呂の墓が「再発見」されたのと対照的に、2人の蝦夷の英雄が葬られた場所の手がかりは、あまりにも少ない。

アテルイらの処刑後、反乱を防ぐために蝦夷は律令国家の各地に移住させられた。「独自の生活様式を変えずに蝦夷がトラブルを起こした記録もあるが、ほとんどの地域で周囲に同化していったでしょう」と熊谷さんはいう。蝦夷の子孫は、東北だけでなく、全国に広がったことになる。

だが、騎馬と弓矢を使う蝦夷の戦法は、後に登場する武士に引き継がれていく。現在の私たち日本人にとって、蝦夷は異族ではなく祖先の一部なのだ。

市川染五郎演じる蝦夷のリーダー「アテルイ」＝松竹提供

3.　吉備国　「桃太郎伝説」の鬼ケ城・　吉備津神社



御釜殿鳴動神事の由来

社伝によれば御祭神に退治せられた鬼「温羅」を祀る処と伝えられる。縁起によると、或夜吉備津彦命の御夢に温羅の霊が現われて、「吾が妻阿曽郷の祝の娘阿曽媛をして御釜の神饌を炊ぎ奉らしめよ。若世の中に事あらば釜の前に参り給はば幸あれば裕かに鳴り禍あれば荒らかに鳴らふ」ミコトは世を捨てて後は霊神と現はれ給へ吾が一の使者となりて四民に賞罰を加へむ」と告げた。この神秘な釜鳴神事のおこりである。今日も鳴釜の神事が行われ、よく鳴動する音の大小長短により吉凶禍福を卜するのである。

江戸時代の林道春の「本朝神社考」や上田秋成の「雨月物語」吉備津の釜などに紹介され神秘な神事として天下に有名である。

うずなへる神のひびきに鳴る釜の
音のさやけき　宮ところかな　重胤

真金吹く吉備　総社平野の北側　壁のように連なる鬼城山の「鬼ノ城」と吉備中山「吉備津神社」

4.　青森県　岩木山(巌鬼山)山麓の鬼伝説　　弘前市　鬼沢・鰺ヶ沢　十腰内

青森　岩木山(巌鬼山)山麓　鬼の里「鬼沢」

津軽　岩木山麓　鬼沢に伝わる「鬼伝説」

青森県　弘前市　鬼沢

昔々このあたりはやせた荒れ地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せっせとこの荒地を耕し始めた。 村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。

すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったきり、姿を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒れ地には、一筋の水の流れが勢いよくほとばしっているではないか。

村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時も決して枯れることはなかったという。

村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという

鬼神社鳥居　　鬼伝説の里　「鬼　沢」の集落　弘前市鬼沢　　鬼神社社殿

【鬼神社　社殿正面に掲げられた農機具の献額】

5.　丹後国　大江山　酒天童子伝承　　京都府　大江町ほか

福島県　沼原(ぬまっぱら)揚水発電所　上池貯水池　と　沼原湿原

安達太良連峰　鬼面山　新野地温泉より

55℃の含鉄泉　赤

6.　神戸　摂播国境に残る神や仏の化身の鬼の追雛式

神戸長田の森長田神社の節分・追雛式

東播磨稲美町野寺高薗寺の鬼追式